

平成30年6月定例市議会

行政報告要旨

総社市

本日、6月定例会市議会を招集いたしましたところ、議員各位におかれましては、万障お繰り合わせの上、ご出席いただき、誠にありがとうございます。

今議会の開催にあたり、議会の皆様には、開会期間を変更していただき、深く感謝いたします。

皆様からお許しをいただき、インドでの国際会議に出席し、ベトナムを訪問してまいりました。この場をお借りして、議員の皆様、及び市民の皆様へ心からお礼申し上げます。大変ありがとうございました。この経験を契機に、また新たな気持ちで、一生懸命頑張ってまいりますので、今議会も、どうぞよろしく願いいたします。

1) 全国屈指の福祉先駆都市の実現

それではまず、本市の最重要施策の1つである、全国屈指の福祉先駆都市の実現に向けた取組について、ご報告申し上げます。

(児童虐待防止)

先日報道された、東京都目黒区で起きた、5歳児虐待死の事件は、大変痛ましいものでした。児童虐待については、これまで、関係機関と連携した情報交換や、必要とされる支援を行ってまいりました。しかし、今回の事件を、他人事ととらえず、6月14日に「要保護児童対策地域協議会」を緊急開催し、地域で子育てを支える仕組みなどについて協議いたしました。今後、9月議会に向けて、議員の皆様と、ご相談しながら、市民レベルで子どもを守り、支えあう、総社流の条例を提案したいと考えております。失われた尊い命に再発防止を誓い、地域ぐるみで親子を見守り、全ての子どもが安心して暮らせる、ぬくもりのあるまちづくりに努めてまいりたいと思います。

(障がい者支援)

次に、障がい者支援でございますが、全国の高校で使われる現代社会、及び政経の副読本に「障がい者千人雇用達成」の取組が掲載されました。

一方、今年3月に、倉敷市の企業が倒産したことから、市内のA型事業所が閉鎖され、多数の障がい者が解雇される由々しき事態が発生いたしました。すぐに、「障がい者千五百人雇用センター」内に緊急対策本部を設置し、4月11日には「障がい者緊急就職面接会」を開催いたしました。解雇された市民25名のうち、現在までに15名の方の支援を完了しているところでございます。

4月17日には、市内のA型事業所の方々と「緊急意見交換会」を開催し、国の補助金制度の問題点などについて、話し合いました。また、総社市が発端となり、全国市長会から「障がい者の安定的な就労確保に関する決議」を、国へ提言いたしました。引き続き、障がい者支援について、議論を深め、加藤勝信厚生労働大臣にも直接面会し、障がい者のおかれている現状を、訴えてまいりたいと思います。

以上、2点ピックアップして申し上げます。総社市の人口は、平成30年5月末日現在、6万8,700人と過去最高を更新いたしました。平成29年度一般会計の決算額は、

実質収支 2.6 億円の黒字を計上し、健全な財政運営を行っているところでございます。今後は、超高齢化・人口減少社会を見据えた政策を展開し、弱い立場にある人に寄り添う施策を徹底的に行ってまいりたいと思います。

2) グランドデザイン改革

次に、グランドデザイン改革についてご報告いたします。

(桃太郎線 L R T 化計画)

まず、「桃太郎線の L R T 化計画」について、4 月 4 日に行われた、大森岡山市長と来島^{きじま}J R 西日本社長との 3 者会議では、役割分担、及び費用負担の考え方について合意に至り、L R T 化に向けて大きく前進いたしました。今議会に、基本計画をとりまとめるための予算を計上しており、今後は、議員や市民の皆様から多くのご意見を頂戴しながら、計画を練り上げてまいります。さらに、沿線エリアの発展だけでなく、市内全域に利便性を見出せるよう「総社市都市・地域総合交通戦略」を策定し、雪舟くんを中心とした地域の足の確保に努め、公共交通の精度を高めてまいります。

(立地適正化計画と県大周辺のまちづくり)

また、今年度中に策定する立地適正化計画により、市街化区域の空き家問題の解消や、まちの活性化を促進してまいります。あわせて、県立大学周辺のまちづくり計画も、国や県と綿密に連携を図りながら、議員や市民の皆様とも十分議論し、着実に進めてまいりたいと思います。

3) 全国屈指の地域力

3本目の柱となる、地域に密着した課題解決のための地域改革「全国屈指の地域力」についてご報告申し上げます。

(市民提案型事業)

市民が、自発的に実施する事業を応援する市民提案型事業に、今年度も、地域の独自性あふれる提案が採択されました。

池田地区は、小道の駅を地域で運営する活動がさらに発展し、秦地区では、高梁川西岸の吉備路にある歴史遺産を、様々な角度から、情報発信する活動などに取り組まれております。また、新本地区では、今年、義民300年記念事業の開催に向けて、非常に盛り上がっているところでございます。

地域ならではの魅力を生かし、自主的に、地域の課題解決に取り組むことで、地域が活性化し、市民主体のまちづくりが進むことを期待しております。

(地域力再生予算)

また、地域の弱い部分に目を向ける予算として、1億円の地域力再生予算をいただき、4月から現在まで、115件の修繕や、舗装工事を施工しているところでございます。引き続き、地元調整を行いながら、市内全域に光をあて、身の回りの細かい部分にまで行き届くよう、地域ごとのご要望にお応えしてまいります。

(小学校カレー)

地域が連携し、地域で考え、創りあげる小学校カレーは、地域の盛り上げに一役買っております。現在発売中の15種類の小学校カレーの総売上げ個数は、6月24日現在6万2,961個と、大変ご好評いただいております。第16弾となる総社中央小学校版は、6月28日にお披露目される予定でございます。6月30日には、羽田空港国内線第2ターミナルの2階出発ロビーに、「小学校カレー自動

販売機」が登場いたします。今後とも、小学校カレーを応援していただきますようお願いいたします。

(日本遺産認定)

地域で守ってきた、鬼ノ城や、作山古墳、こうもり塚古墳などが構成文化財となっている「桃太郎伝説」のうまれたまち「おかやま」が日本遺産に認定されました。岡山市・倉敷市・赤磐市と連名での認定ですので、今後は4市で連携し、文化と観光が融合した取組を行い、地域の皆様の愛着や誇りを育みながら、後世へ伝えてまいりたいと思います。

また、来年2月24日に開催される「2019 そうじゃ吉備路マラソン」を、「日本遺産認定記念マラソン」と位置づけ、地域が一層盛り上がるよう、工夫したいと考えております。

今後も、強い「地域力」をつくり、地域が自立していくため、地域の実情に即した支援を行い、地域とともに、汗をかいてまいります。

4) 出張報告

最後に冒頭でも申し上げましたが、6月18日から23日まで、インド、そしてベトナムへ出張してまいりましたことをご報告させていただきます。

今回の国際会議への招聘は、障がい者千人雇用を達成し、日本で一番早く、被災地に駆けつける基礎自治体としての取組が、WHO（世界保健機関）から高い評価を受けた成果でございます。これはひとえに、障がい者の方の、社会へ踏み出す勇気と、議会や市民の皆様など、本当に多くの方々のご理解やご協力があったからでございます。この場をお借りして、全ての方々に対し、改めて深く感謝申し上げます。

今回の講演で、世界中の障がい者に対する考え方が変わり、妊娠中に障がいがあっても、安心して、子どもを生むことができる社会の実現に近づくことを期待いたします。

ベトナムでは、サンデリカや大黒天物産などの、市内企業からの要請を受け、ベトナム政府及び、就労や送り出しを管理する会社などに直接赴き、優秀な人材の、継続的な確保をお願いしてまいりました。

また、インド、及びベトナムの大使にもお会いし、総社の
住みやすさなどをPRしてまいりました。

(市民へのお知らせ)

続きまして、市民の皆様へ2点、お知らせをさせていただきます。

(1) 平成30年秋巡業 大相撲総社場所の開催

かねてより、日本相撲協会に働きかけておりました
大相撲総社場所が、ついに実現いたします。10月20日、
土曜日、スポーツセンターきびじアリーナで開催される総社
場所には、横綱・大関陣を始め、行司・呼出など、裏方も
含めて、総勢270名程が、総社に集結いたします。公開
稽古や握手会など、力士と直接触れ合うことのできる巡業は、
テレビでは味わうことができない醍醐味です。乞うご期待く
ださい。

(2) 総社駅南地区土地区画整理事業に伴う住所等の変更

2点目、総社駅南地区土地区画整理事業の換地処分に伴う住所などの変更についてお知らせします。7月14日から、真壁、及び三輪地内の一部の住所が、駅南一丁目、駅南二丁目、中央六丁目に変更され、郵便番号も変わります。該当する住所など、詳しくは、市ホームページなどでご確認ください。よろしくお願いいたします。

(2月議会での検討事項について)

それでは、先の2月議会での検討事項としたものにつきまして、その結果をご報告させていただきます。

三上議員から、FM放送において、本市独自の行政情報の提供や、番組作りが考えられないかとのご質問がございました。4月から、市民の方に出演していただく番組、「明るい農村総社市」を開始し、毎月、タイムリーな情報を提供しております。総社市のスポットCMは、平日午前8時10分頃、20秒間おしらせしているところです。今後は、末永く愛される番組となるよう、リスナーの皆様から、ご意見ご感想を

いただき、番組作りに生かしていきたいと考えております。

頓宮議員からは、避難マニュアルの必要性と小学校カレールの備蓄について、ご質問をいただきました。勤務時間中に、地震が発生した際の行動指針をすでに作成しており、これを元に、マニュアル化していきたいと思っております。また、維新小、昭和中、池田小に、それぞれの小学校カレールの備蓄を行っており、今後、分散備蓄を広げていきたいと考えております。

また、溝手議員からご質問いただいた、民生委員のなり手不足に関する対応策でございます。民生委員活動のやりがいや喜びについて、広報紙で、現職の民生委員からの生の声を発信し、解消の一助とするなど着実に取り組んでまいります。

山田議員からは、自動車の誤発進防止や、追突防止対策に支援はできないかとのご質問ございました。早速、春の交通安全運動期間中である4月6日に、交通指導員を対象に、安全運転サポート車の体験講習を実施したところでございます。

村木議員からご質問のありました、中小企業の後継者不足対策として、総社市へ移住される方ともマッチングできる、

総社流の、「後継者バンク」を設置する準備を進めております。

最後に、高谷議員からは、中小企業への支援策について、ご質問をいただきました。国が始めた、中小企業の設備投資を促進するための固定資産税の課税免除については、地方税の基幹に手をつけ、地方の独自性を奪いかねない制度であり、断固抗議してまいりました。しかし、ものづくり補助金など、国の補助金採択にも、市内企業に不利益などが生じることから、断腸の思いで、今議会に税条例の改正案を上程いたしました。その上で、本市独自の支援策として、小規模事業者にも使いやすい補助金制度を考えてまいりたいと思います。

以上、総社市の最重要課題である3本の柱について、主に申し上げてまいりました。

先般開催された全国市長会において、経済委員長の再任が決定いたしました。あわせて、全国空き家対策推進協議会会長、中小企業政策審議会の小規模企業基本政策小委員会、及び官公需小委員会の各委員にも任命されております。

引き続き、このイニシアチブを最大限生かし、総社市のために、国に働きかける所存です。

今後も、議員の皆様や、地域のお力添えをいただきながら、社会的に弱い立場にある人に光をあてた施策を実行し、全国屈指の福祉文化先駆都市の実現に向けて、挑戦を続けてまいりたいと思います。議員の皆様方におかれましても、より一層のご理解とご協力をお願い申し上げ、私からの行政報告とさせていただきます。